

# Family Easter Celebration

【SCHEDULE】	1:00～ イースター礼拝（大礼拝堂）
	1:45～ ゲーム（フェローシップホール） カラーエッグ
	2:30～ エッグハント（外のグラウンド）
	2:40～ スナック、アナウンス（フェローシップホール）
	3:00 閉会

## イースター礼拝

司 会：立石尚志 ピアノ：立石聖美  
合唱：グリニッチ教会クワイヤ 独唱・伴奏：鳥居夕紀夫・順子

❧ WELCOME!!

❧ 「ああ感謝せん（Dank sei Dir, Herr）」

独唱

❧ おいのり

❧ イースター・ストーリー Part 1

❧ 「十字架にかかりし」

クワイヤ賛美

❧ イースター・ストーリー Part 2

❧ 「夜明けの丘は」

クワイヤ賛美

❧ 「やすかれ、わが心よ」

クワイヤ賛美

❧ 「君は愛されるために生まれた」

みなさんで

❧ 献金・報告

❧ 祝福のおいのり

----- フェロシップホールへ移動 -----

◆お願い◆ 本日のプログラムではチャイルドケアがありませんので、お子様とご一緒にご着席ください。礼拝中にチャペルを出られる場合は、チャペル後方の階段／出口をご利用ください。携帯電話のスイッチは事前にお切りください。

ああ感謝せん（Dank sei Dir, Herr）  
（G. ヘンデル）

ああ感謝せん、感謝せん、わが神、今日まで導きませり。  
げに主はわが飼い主、強き手もて、われを守りませり。

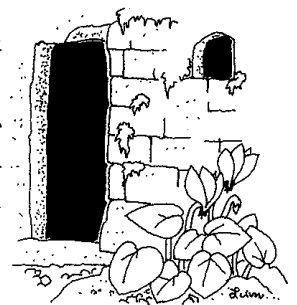
## 《WELCOME!》

- \* 本日のファミリー・イースター・セレブレーションによろしくお出でくださいました！ ご一緒に今年のイースターをお祝いすることができましたことを大変うれしく思います。初めてお出でくださった方は是非ゲストブックにサインをお願いします。
- \* 礼拝中に献金の時がありますが、どこまでも自由です。お志のある方はイースターの恵みを覚え、お捧げください。
- \* 第一部の「イースター礼拝」終了次第、地下フェローシップホールにて、第二部の子供プログラムを行ないます。また親御さん、お子様連れでいらっしゃる方のために、茶菓が用意されていますので是非、お残りくださり歓談の一時をお持ちください。
- \* 今後ともいろいろなイベントがありますので是非おこしください。週の間教会や家庭持ち回りで聖書の学び会なども多数行っています。聖書を学び共に祈っていくこと中、必ず今まで知らなかった世界が広がってきます。

## イースターとは「死は終わりではない」というメッセージ

●新約聖書の四つの福音書、マタイ、マルコ、ルカヨハネ伝は全てキリストの十字架と復活の記事で終わる。それに続く使徒の言行録にはこの「十字架と復活」のメッセージ（福音）がどのように時の中心地、ローマに至ったかが記されている。当時、すべての道はローマに通じていた。ローマに伝えられた福音はやがて全世界へと伝えられることとなった。

●イエスの宣教の前半（A.D. 26~28）、イエスの様々な奇跡を体験した者たちは、喜び躍り、イエスのことを次々と人々に伝えて行った。その結果、イエスの評判（福音）はまたたく間に当時のイスラエル全域に広がった。しかし働きが後半（A.D. 29~30）に入り、時の権力者達からの圧力が増して来ると、従う者たちは次々にふるいにかけられ、イエスが十字架にかけられた時点では、従う者たちは女性達と弟子のヨハネ以外誰も残っていなかった。そしてイエスの死と埋葬で一旦、語られるべき福音は無くなってしまったのだ。（裏面に続く）



●ところが誰も予期しなかったことが起きた。三日目の朝、死んだはずのイエスに出会ったという報告が次々とイエスに従っていた人たちから11弟子達に届き始めたのだ。そしてついに、疑う11弟子にもイエスはご自分を現わされた。イエスの体はさわることでできたばかりか、イエスは物を食べて幽霊でないことを彼らに証明された（ルカ24:39-41）。復活したイエスは弟子たちに御自分の働きがイスラエル国の名誉挽回という小さな目的のためではなく（使徒1章）、全人類の根本問題・・・神との断絶／罪と死の大問題を解決するためであったことを教えられた（ルカ24:45以降）。キリストが天に帰られた後、弟子たちに聖霊による火のバプテスマが下り、神の力が一人ひとりにみなぎると、彼らは神のなされたことを語り出さずにはいられなくなった。彼らが「主イエスの復活を非常に力強くあかし」（使徒4:33）した結果、中近東の片隅で語られ始めた「福音＝ゴスペル」は全世界へ、時を越えて広がって行ったのである。

●世界中の人々に唯一等しく訪れる出来事は各々の人の「死」である。神から永遠への思いを与えられている人間（伝道者／コヘレト3:11）にとり、死は不自然であり、受け入れがたいもの、恐怖、絶望であり、あらゆる業績と人生経験にゼロのかけ算を行なう虚無の世界である。人は死を意識の片隅に迫りやるために目先の目標を次々に設定し、せめて生きている間、人生をフルに楽しもうとあらゆる気晴らしに走る。病気はそのような生き方に突然ブレーキをかけ、準備不足の者をうろたえさせる。多くの難しい病気に新たな治療方や治療薬が見つかることそれらは「福音」と呼ばれ、期待されるが、イースターは病気の治療以上のもの、死そのものに対する解決であり「真の福音」なのである。キリストの復活は、神が「死」の向こう側に復活の命を備えておられることの証明であり、死は終わりではない、という明白なメッセージなのである。

●次のように心から告白するならあなたにも永遠の命が与えられるのである。

1) 私は今までの人生において、神と人また自分に対して様々な罪を犯し、神からの処罰に値することを認めます。私は神の御子イエスが十字架にかかり私の罪を代わりに背負って刑罰を受け、死んでくださったことを信じます。

神はイエスゆえに、私の罪を赦してくださったことを信じ、感謝します。

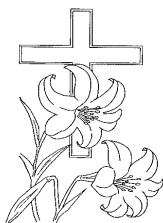
2) 私はこれからの人生、復活された御子イエスを自分が従うべき「主」と告白し、イエスに信頼し、イエスの命令に従っていくことを決心します。

たったこれだけであるが、ここから全てが始まる。神はこの告白を元に、御自身の聖なる霊を私たちのうちに宿らせ、永遠の命への確信を下さるのである。

●死者の復活を確信し、永遠の命が与えられていることを確信した者はもはや死を恐れなくなり、自分の命にしがみつく生き方から、大胆に神と人のために自分の命を用いる生き方へ進む。神は私たちがこの命を完全に使い切ること、キリストのごとく完全燃焼させることを願っておられる。神はそうする人を喜ばれ、新しい復活の命を惜しみなく下さる。

死は終わりではない！

**HAPPY EASTER!! ■**



神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。  
ヨハネ福音書 3:16

### きみは愛されるために生まれた

作詞・作曲 イ・ミンソプ 訳詞 神 明弘 朴 鐘姫&BBJ  
<http://www.gospeltv.jp/video/200510/kimi.wmv>  
<http://www.youtube.com/watch?v=BCZ5L5c3hUE>

あい う  
きみは愛されるため生まれた

しょうがい あい みち  
きみの生涯は愛で満ちている

あい う  
きみは愛されるため生まれた

しょうがい あい みち  
きみの生涯は愛で満ちている

えいえん かみ あい  
永遠の神の愛は

であ なか み むす  
われらの出会いの中で実を結ぶ

そんざい わたし  
きみの存在が私には

よろこ  
どれほどおおきな喜びでしょう

あい う  
きみは愛されるため生まれた

いま あい う  
今もその愛 受けている

あい う  
きみは愛されるため生まれた

いま あい う  
今もその愛 受けている



4/4/2010 Happy Easter! Japanese Gospel Church of Greenwich [www.jgcdmi.com](http://www.jgcdmi.com)